
僕の親は無限の欲望

楚良

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕の親は無限の欲望

【Zコード】

Z2357BA

【作者名】

楚良

【あらすじ】

気が付いたら目の前には神様が！

主人公はなんでか前世の記憶を持たぬまま転生！

転生先はまさかのスカリエツティのアジト！？

他の転生者がいる中、原作知識どころか前世の記憶がない主人公はどうするのか！？

プロローグ？（前書き）

どうも、楚良です。

頑張つて完結まで持つてい行けるよう頑張ります。

ちなみに転生もの初挑戦です。
応援してくれたらうれしいです。

プロローグ？

「突然だがお主には転生してもう」

「はあ？」

少年が気がつくとそこは一面真っ白。水平線の向こうまでが真っ白で、障害物はおろか、雲も太陽も何もない空間だった。

そして少年の眼の前には無駄に髪の長い老人。一瞬、頭打つておかしくなったか？と思つてしまふが、この老人は限りなく正常だ。

「おじいさん、何言つてるの？もしかしておばあちゃんが死んだから狂つて」

「すまんがわしは正常じゃよ。話を進めたいんじゃがよいか？」

「ダメつて言つたら？」

「地獄に墜とす」

「サーイエツサー！」

（老人の説明開始）

この老人はなんと神という存在だった。

少年は神に少しだけだが喧嘩を売つていたのだ。

しかし、この神様は本当に優しい。

そんなことをなかつたかのように接してくれた。

しかも人の心が読めるらしく、少年の考えたことは簡抜け。少年はビックリしていたが、そこまで驚かれなかつたことに神様は少し落ち込んだとか。

それと転生をせてもうれる理由が『気まぐれらしい』。適当に選んだのがこの少年ということだ。

「といつ訳で好きな望みを言え。何でもかなえてやるだ」

「その前にこの世界に転生するの？」

『せういえば言つてなかったの。『リリカルなのは』の世界じゃ』

「・・・マジ?..」

「大マジジヤ」

『魔法少女リリカルなのは』

二次創作などではよく見かけたりする。

名前つけるの少年も結構好きなアニメでもあるのだ。

そこで少年はあることを思いつく。

神様が何でもかなえてくれると言つてるので早速頼んだ。

「それと、スカリエツティ側」

「良いじゅうづ。して、他には?..」

「やして最後に

」

「前世の記憶を消してくれ。原作知識も全部

「・・・お井、本気で言つてあるのか?」

「おへ、一度目の人生だ。前世の記憶に邪魔されたら詰まんないだ
何かの縁。特別特典を受けよ!」

る~」

「さつせつせつ!...お主のような人間は始めてじーょし、これも

「こひないけど、一応受け取つておへよ

「されど、最後に忠告じや。お井の他の転生者もある。阮を付け
るのじや」

「・・・記憶消すんだからそれ意味なくね?」

「つべこべ話わんで、行って来い」

そう言つて、少年の足元が丸く、黒くなる。
さらりと脚が地面についている感覚がなくなつた。
つまりは

「落ちんのかよ——っ……！」

プロローグ？（後書き）

次回はキャラ紹介（たぶん
その次から本編となります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2357ba/>

僕の親は無限の欲望

2012年1月5日23時47分発行